

生活支援コーディネーター

④地域の資源開発(竹野南地区)

資源の確認と課題整理

生活支援コーディネーターは「竹野南地区コミュニティわいわいみ・な・み」、地域活動グループと共に、地域の課題や必要な取組みを検討・試行しました。そして、高齢化や過疎化で地域の集いが減少したことから、平成28年4月に「よつばカフェ」を開始。この集いの場は交流だけでなく、互いの状況を把握し、地域にとって何が必要なのか、どんな人がいるのかなど、自分の地域の強みや状況などを確認する場にもなっています。

資源開発・コーディネート

生活支援コーディネーターは介護予防の集いの場となる豊岡市支え合いサービス事業を始めるために、必要な人材の発掘と育成、カフェから

市では、平成27年4月から豊岡市社会福祉協議会に委託して、6人の生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置しています。生活支援コーディネーターの役割や活動を紹介します。



ささえ愛通所サロン
わいわいみ・な・み

見えてきた課題や事業のイメージを住民と共有し、住民が目指す活動となるよう支援しました。「わいわいみ・な・み」が昨年11月から支え合いサービス事業を受託しましたが、さらに地域に合った集いの場になるよう、関係団体等と協働し、日々試行錯誤を繰り返しています。

地域で困りごとの話をしたい、解決方法を検討したい、地域活動をしたい方は、生活支援コーディネーターへ気軽に相談してください。

《問合せ》豊岡市社会福祉協議会地域福祉課

☎23-2573 市高年介護課☎29-0055

3月は自殺対策強化月間

あなたはぐっすり眠れていますか？

春は、学校や職場などの環境の変化で、この時期ならではのストレスを抱えやすい季節です。特に3月は最も自殺率が高い月であり、厚生労働省では「自殺対策強化月間」としています。悩みを一人で抱えず、周りの信頼できる人に打ち明けてみましょう。すっきりしない場合は、市の相談窓口なども利用できます。

《相談・問合せ》健康増進課 ☎24-11127

1人で考えないで！ 信頼できる人、専門家に相談を

とがあります。相談・受診など早めに対処することが大切です。

あなたもできる いのちを守る行動

あなたの周りの人のところからあなたの健康にも気を配ってみましょう。

①変化に気付く

自分を追いついてしまっているサインの例
○1日中憂鬱(ゆううつ)そうな顔をしている。
○かなり疲れている印象
○身だしなみがだらしなくなっている。

②耳を傾けねざらう

「ちゃんと眠れている？」と「あなたのことを大事に思っ

ている」気持ち伝えてみましょう。そしてじっくり話を聞き「大変だったね」などのねぎらいの言葉を掛けましょう。

③支援先につなげる

相談を受けても自分だけで解決する必要はありません。悩みに合わせて相談機関につなぎましょう。24ページをご覧ください。

④温かく見守る

「大丈夫。いつでも相談にのるから」と普段の生活の中でも、温かく見守りましょう。

相談先の紹介

○もしもし電話健康相談

☎22-17700(平日午前9時～午後5時)

○兵庫県のちと心のサポートダイヤル

☎078-1382-13566(平日午後6時～午前8時30分、土・日曜日と祝日は24時間)

市では、このころの健康に関する相談日(このころのケア相談・このころの相談室)を設置しています。本人や家族からの相談を受け付けていますので、気軽に相談してください。

障害者支援のかたち 『働く』

障害者雇用に積極的に取り組んでいる企業を紹介し
ます。

株式会社東豊精工 (下陰)



精密ばねを研磨

企業概要は？

昭和32年に創業し、昨年12月に創立60周年を迎えました。OA機器から自動車、医療機器までさまざまな業界に向け、豊岡、深川(中国)と上海の各工場から世界中に精密ばねを供給しています。髪の毛ほどの太さのマイクロスプリングは、IT関連や医療機器にも使用されています。

雇用状況は？

現在、本社工場では平成26年から障害のある方が1人勤務しており、会社の行事にも積極的に参加してくれています。JRとバスを利用して通勤するため、勤務時間は時刻表や悪天候などに合わせ柔軟に対応しています。

雇用した感想は？

本人の性格は几帳面で、ものづくりに合っていると思います。機械操作などの安全面には問題なく、製品の品質面でも安心して作業を任せられます。今では、東豊精工の社員として重要な戦力です。

長く勤めてもらうためには？

体調管理とモチベーションの維持は大切だと思います。言葉での表現の仕方、数の伝え方も分かりやすいように指示をしています。指導する社員も、家族のように親しみやすく、話しやすいことも良かったのかもしれませんが、また、機械音が気になる場合は、イヤーマフ(耳栓)をつけるなど、少しでも働きやすくなるように配慮をしています。

働く人の声(20代男性)

会社見学をした時に作業が楽しそうだったので「働きたい」と思いました。就職が決まった時はとてもうれしかったです。今は精密ばねを研磨する仕事をしています。みんな優しくしてくれます。給料が出たらお父さんと買い物に行って、アニメのCDやDVDを買っています。楽しみです。

今後の展開は？

今の工場はドアが多く狭い上に階段も多く、特に身体障害の方にとっては働きやすい環境だとはいえないかもしれません。今後は、安全面に配慮した環境を整え、障害者の雇用も進めていきたいと思っています。

《問合せ》豊岡市障害者自立支援協議会事務局(豊岡市社会福祉協議会豊岡市障害者基幹相談支援センター)
☎26-6060

⑥Impossible Missions (最終回)



おはよう、鳥獣害対策員(ワイルドライフ・マネージャー)の諸君。今日も君たちには難題(ミッション・インポッシブル)を解決してもらおう。本日の指令は題名の通りである。成功を祈る。

《問合せ》農林水産課
☎23-1127

日々発生する任務

1年間、外国のスパイ映画をもじったタイトルで任務の思い出話を書いてきた。他にも平成29年に香美町で人身被害を出したクマを捕獲したことなど話は尽きないが、諸々の事情から成果を伏せているものも多い。

連載に書いた任務は規模が大きかったり劇的だったものだが、任務は日々発生し、うまく解決できたものもあれば中途半端で終わらざるを得なかったもの、何年も腰を据えて継続中のもの、そして手も足も出ていないものもある。特に城崎A群と呼ばれるサルの群れについては、今後どうしてゆくのかの解決の糸口が見つかからない課題となっている。

また、市全体で見れば減ったシカも、捕獲の困難な場所が集まっており、一方でシカの減った地域では中・小型哺乳類による農作物被害が増加している。

豊かな自然と被害は表裏一体 豊岡市の魅力の一つは豊かな自然だが、これらは地域の宝である一方、農作物や家屋などの被害と表裏一体であり、鳥獣害対策は市の永遠の課題である。しかし、表裏一体であるからには、バランスを整えることで被害を地域の宝に転ずることができるとは。今後は、そういった取組みによって市の支出を減らすことが目標である。そのため、各地域の環境のバランスの変化に日々目を光らせている。